



館報 絆 (きずな) <令和8年7月号>

地域住民同士の「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」を支援し、人づくりと地域づくりに貢献します！

打田地区公民館
令和8年6月26日
文責：館長 田村 幸美
電話 77-3140

通常講座(6講座)も開講しました！

梅雨に入り、公民館花壇のあじさいもちょうど見ごろを迎え、雨でうっとうしい天気もありますが、「ケロケロ」とカエルの鳴き声が響くなど、季節の移りかわりを感じる今日この頃です。

さて、6月号でもお知らせしましたが、通常講座(手話・ウクレレ・コアチューニング・韓国語・ダンス・ピアノ)も続々と開講しています。受講者の顔ぶれを拝見すると、当館をよく利用いただいている打田地域のかたもいらっしゃるようですが、講座に魅力を感じていただいたのでしょうか、地域外からや新たに受講に来てくださったかたもいらっしゃいます。講座の内容を検討したり、新しいメニューを入れてみたりなど、色々考えたのが功を奏したのかなとうれしく思っています。これからもみなさんが「つどう」公民館をめざして進めていきたいと思ひます。一部ですが通常講座開講の様子をご紹介します。

「楽しく学ぼう！手話教室」(6/9)

「手話」というと敷居が高いと感じられがちですが、この講座に参加いただければ、そのイメージは拂拭されるのではと思います。楽しく学べるよう市の手話通訳担当の児玉さんが工夫して講座を組み立ててくれています。

初回のミッションは「物の形を手で表現する」ことです。受講者のみなさんはうまく表現でき、講座に参加してくださっている方にも、物の名前がしっかり伝わっていました。

「手話」は手で表現する「目で見ることば」だと実感できると、難しくなく覚えるのも楽しくなりそうです。



「始めよう！ウクレレ」(6/14)



本講座はとても人気があり、募集人数を大幅に超える応募がありました。抽選ののち、講師の福島先生とも相談し、申込みした25人全員が受講していただけることになりました。「ウクレレを持っているものの、長年弾いていないので再起チャレンジしたい」、「ギターは弾けるが、弦の数が異なるウクレレもひきたい」など、受講者の思ひは様々です。自己紹介のコメントで、「うまくなりたい」という皆さんの熱意を感じました。

開講式のあと、コードの練習をしてから、「ルーシュの伝言」を皆さんでひきました。ウクレレの素朴な音色が、スタジオをいっぱいにしてとても素敵でした。

★7・8月は夏休み特別企画のイベントがいっぱい！

エクストラ・コミュニティ・サマー(ECS)、～スペース「いばしょ」で遊ぼう～楽しい「板(いた)しばい」をみよう！「巨大(きょだい)ドーム」を作ろう、こども宇宙ワークショップなど、子ども対象のイベントを開催します。詳しくは館内掲示板あるいは公民館職員までお尋ねください。

▼企画講座の近況▼

★講座で花壇にお花を植えました！(6/6)



「プロが教えるガーデニング講座」第2回目は花の植え付け(ハーブ苗や16種類の花)を行いました。梅雨の恵みを受けて、成長するのが楽しみです。

♥「めざせおもちゃ修理の達人!!」(6/13)



講座2回目にして早速おもちゃを使って実習開始！みなさん実習が始まると特に真剣な表情になっていました。先輩ドクターの説明を受け、いきなり壊れたおもちゃを蘇らせた受講者もいました。おもちゃ病院の開院に向けて着々とノウハウも身に着けているようです。

♥子育てパパ・ママの”まったり交流”カフェ(6/20)

栄養士グループNAGAの三國さんを講師にお迎えし、「究極の『時短調理法』をマスターしよう」と題し調理実習を行いました。レンジを活用し、まな板・包丁を使用せず、一時間で5品(デザートを含む)ができるとはビックリです。受講者(アンケート結果)からは、調理に関する豆知識も聞くことができ、おいしく充実した時間を過ごせたという高評価をいただきました。



▼「紀の川学」郷土料理の調理体験(6/8)

灌漑の歴史や郷土の風土、粉河祭、三船神社の祭礼、大飯盛物祭などの説明を受けた後、今回は祭りのとき、よく食べられたという「鮎寿司」の調理体験を粉河門前町の畑和成さんにご指導いただきました。

暖かい気候と豊かな紀の川の水の流れにより、今日でも水田が多く見受けられます。当地方の郷土の料理もそのようなことから、お米にまつわるもの(鮎寿司、じゃこ寿司、かきまぶりetc)が多いようです。



「紀の川学」クイズ

「いんのこもち」はどのような郷土料理でしょう。答えは↓

クイズの答え やらかした里芋ともち米をつぶして丸め、小豆あんをまぶしたもの。農耕の神様とされる亥の神に、秋の収穫が終わると「いんのこもち」をお供えするそうです。